

■事業報告 伝統芸能鑑賞会

川西大念仏剣舞～祈りと鎮めの心～

平成23年9月23日(金・祝) 午前の部：川西大念仏剣舞子ども同好会 午後の部：川西大念仏剣舞保存会

奥州市衣川区の川西大念仏剣舞（国重要無形民俗文化財）は、奥州藤原氏の初代清衡を悩ます亡魂を念仏で救い、浄土へ導くさまを表した芸能と伝えられます。

当館では「平泉の文化遺産」の世界遺産登録を記念し、9月から10月にかけて各種関連イベントを開催しました。ここでは、その一環として行われた川西大念仏剣舞単独公演の様子を報告します。

●午前中はさわやかな秋空のもと、子ども同好会による演舞が行われました。同好会は剣舞の伝承活動に取り組む奥州市立衣里小学校へ通う4年生以上の児童のうち、もっと剣舞がしたい！という希望者が集い組織される会です。これまで金曜日の放課後に練習を重ね各地のイベン

トで成果を披露してきましたが、今年度は震災の影響で十分な練習時間を確保できなかったとのこと。今回が面をつけての初披露となりましたが、周囲の大人たちの心配をよそに堂々とした演舞をみせ、大きな拍手を集めました。

●午後は同好会を巣立ったばかりの中学生から米寿を迎えたベテランまで、幅広い年齢層で取り組む保存会の皆様にご披露いただきました。剣舞の始まりを告げる回向念仏を唱えようとしたその時、博物館は超局所的豪雨に見舞われましたが、皆様のご協力をえて屋内への会場変更を迅速に済ませることができました。

今回の公演は保存会会長の伊藤敏男さんの巧みな解説を交えて鑑賞でき、充実



上) 六人怒者の練習 2011.07.01

下) 初めて面をつけて臨む本番 2011.09.23

した2時間となりました。

(専門学芸員 川向富貴子)

■事業報告 夏休み子どもツアー

夏は博物館へ行こう！

平成23年7月23日(土)、8月5日(金)、6日(土)、8日(月)

「夏は博物館へ行こう！」は、普段当館を訪れる機会の少ない小学生に博物館の楽しさを伝えようと企画されました。今回は沿岸地域の小学生とその保護者約270名が参加しました。その様子をお伝えします。

●力作ぞろい～こはくの玉づくり～

こはくを磨いて、ネックレスを作っていきます。初めにきりを使ってこはくに穴を開けていきます。こはくが割れない



ように、みんな慎重に作業していました。次はこはくをやすりなどで研ぎます。ここからは自分の好きな形に仕上げようと、みんな真剣に、そして楽しく作業していました。中には、作るのが大変難しいとされる「勾玉(まがたま)」にチャレンジする参加者もいました。穴にひもを通して完成したネックレスを首からぶら下げた時、みんなの顔がとても嬉しそうでも印象的でした。

●私のお気に入り～展示室見学～

総合展示室の見学では、解説員の解説を聞きながら、自分が興味を持っているコーナーの展示に熱心に見入っている姿が多く見られました。恐竜が好きな人や甲冑に興味を示す子・・・それぞれが自分だけのお気に入りの展示をしっかりと発見できたようです。

また、お昼ごはんを屋外の展示施設でもある民家で召し上がっていただきました。吹き抜ける風を肌で感じながら、初



めて民家を目にする小学生たちも先人の住まいへの工夫に感じ入っていました。

今後もこの事業を通じて、さまざまな地域の小学生に、博物館の魅力を伝える機会を提供していきたいと考えています。

(専門学芸調査員 原田祐参)